

差出人： メールニュース／b-active 株式会社
件名： 【セルフ・キャリアドック情報 –No.047–】

※本メールは、b-active にメールマガジン配信のご登録をいただいた方、講習会にご参加の方、および名刺交換をさせて頂いた人事の方や企業分野のキャリアコンサルタントの方にお送りしております。もしも、ご意向に沿わない場合など「配信停止」をご希望の方は、お手数ですが最下段の「★配信停止をご希望の方はこちら」からお願い致します。

メールニュース会員 各位

みなさんこんにちは！キャリアコンサルタントの植村格明（うえむらまさあき）です。「企業分野」でキャリアコンサルティング活動をされる方々のサポート機能として、少しでもみなさまのお役に立てればと思います。

【セルフ・キャリアドック情報】

今回も連続で、1月12日（水）に開催しました ACCN テーブル 19「第9回セルフ・キャリアドック・フォーラム」での厚生労働省キャリア形成支援室長 國分一行様の「問い」へのわたくしの考えや意見お伝えいたします。

今回は「問い 3 そもそも何をするのか？効果やメリット・デメリット？」についてです。企業内キャリアコンサルタントの役割とは、そもそも何をすることなのでしょうか？大学や就職支援などの他の領域とは、やることが大きく違うのでしょうか？

先日、花田光世先生は「個の元気の総和が、組織の活性化になる」と ACCN テーブル 19 の 5 月度セルフ・キャリアドック・フォーラム特別講演にてお話しされました。

そして、わたくしが企業様にセルフ・キャリアドックを実践する際には、「従業員のキャリア自律による、組織の人材戦略の実現支援を通じた組織の活性化を目指すこと」が、自分自身の役割であるとお説明させて頂いていただきます。

では、「キャリア自律」とは何でしょうか？ どう定義するかは企業ごとに違いますが、組織内での共通言語として意味合いを統一することが大変重要だと最近特に感じます。

例えば、人事部門側の意味は「自己責任+指示的」と捉えていて、一方ミドル社員側は「自己実現+受動的」かもしれません。つまり、このような共通言語化のコンサルテーションも企業内キャリアコンサルタントの重要な役割ではないでしょうか。

そして、キャリアコンサルタントとしては「自己受容+支援的」と私は考えます。つまり一人ひとりの働きがいとエンゲージメントの向上を支援するために、個人のキャリア自律へのマインドセットの支援を行うことが大き

な役割であると考えます。

一方で組織の活性化の側面から見ると、持続的成長を実現するために、人事制度や副業制度、再雇用やジョブ型雇用制度などの「外的制度面」を変更導入しますが、残念ながら働きがいやエンゲージメントに繋がらない状況も多々あります。

だからこそ、個人のキャリア自律へのマインドセットである「内的意識面」への支援が、どのように組織の活性化に繋がるのかをコンサルテーションし、プログラムを企画することが重要な役割です。

なお、私が一般的に実施するプログラム内容は「キャリアワークショップ」と「キャリア面談」の実施を柱として、2〜3年間のプログラムを企画し提示しています。

そして結果のアウトプット。従業員個人は元気で前向きな「キャリア形成カード」を完成させ、それをデータベースとして組織と共有します。組織には「活動報告レポート」を提示し、キャリア支援体制の改善強化に繋げることが実施内容となります。

今回は、「問い 3 の後半、効果やメリット・デメリット？」について意見を述べたいと思いますが、ぜひ皆さまからもご意見などをいただければ幸いです。

* 3 月度のセルフ・キャリアドック・フォーラムに再度國分室長様にご参加いただく予定ですので、企業内キャリアコンサルタントの方は、ぜひ ACCN テーブル 19 へのご参加をお待ちしております。

お問合せ：ACCN Table No19 大阪万博・共創チャレンジ事務局 team.accn.table19@gmail.com

————— キャリアコンサルタント国家資格【更新講習】受講をご検討のみなさまへ —————

【技能更新講習】セルフ・キャリアドック「面談実践」コース（6 時間）は **3 月 13 日（日）**

【技能更新講習】セルフ・キャリアドック「ワークショップ実践」コース（6 時間）は **3 月 20 日（日）**

【技能更新講習】セルフ・キャリアドック「全体報告実践」コース（6 時間）は **3 月 27 日（日）**

お申込みは b-active ホームページ <https://www.b-active.co/lecture> 「オンライン講習」

☆最後まで読んでいただき、本当にありがとうございます。

一人ひとりの「働きがい」「生きがい」と共に / **すべては対話から**

b-active 株式会社 www.b-active.co

Copyright© 2022 b-active Inc.